

和歌山信愛高等学校

～Global Activity Club～

高校生ボランティア・アワード2024

1. きっかけ

カンボジアの新型栄養失調

栄養に興味を持ったメンバーが近年カンボジアでは特定の栄養素が不足する新型栄養失調の子供たちが増加しているのを知る



↑実際に見学したカンボジアの駄菓子屋

目指したい目標

カンボジアの子供たちが栄養の知識を持ち健康な生活を送ること！

2. 現状

「栄養」のカードゲーム作り

まずはカンボジアの現状を正しく把握しなければ！
そこで...カンボジアに栄養教育を普及させているFIDRの甲斐永里さんに話を聞くことに

すると
実際にカンボジアでは**新型の栄養失調**にかかる子供は増加している

甲斐さんによると原因は
・**栄養に関する知識不足**
・カンボジアには白黒の教科書が多く**遊びを取り入れた授業がない**

カンボジアの子供たちが**栄養に関心を持ち主体的に知識を得るには？**
議論を重ねる...
子供は**まるもの=ゲーム**

栄養をテーマにオリジナルのカードゲームを制作しよう！

3. 実践

実際に栄養カードを作ろう！

カードゲーム作りスタート
しかし行き詰まる....

そんな時！友人の紹介でアトムモンスターズに出会う。

アトムの難しい化学も楽しく伝えるコンセプト

私たちの目指すカード作りに似ているのではないか

さっそく...

アトムを制作しているタンキュー株式会社の設立者森本佑樹さんに話を聞くことに！

森本さんからアドバイスをもらい

①**既存の商品の真似から始める事**
→ UNOを参考に

②**対象年齢を絞る事**
(年齢に見合ったゲームを作る)

→ **対象年齢**
幼稚園年長から小学校低学年にして制作する事にした

1番のポイントは？

栄養の中でも何を伝えたいのかを明確化する事

これまでの私たちは栄養についてたくさん知ってほしいという思いからルールを複雑化してしまっていた
しかし...それでは子供たちは楽しめない

食事における**バランスの大切さを伝え、**
新型の栄養失調を無くす事を目標に制作

そして**試作品が完成**

カードゲームのルール

- 赤 (炭水化物, タンパク質)・・・15枚
- 黄 (脂質)・・・15枚
- 緑 (ビタミン, 無機質)・・・15枚
- 紫 (お菓子カード)・・・7枚
- ピンク(誕生日カード)・・・2枚



- 参加者はカードを**赤→黄→緑**の順で出す
- お菓子カード**が出されると次の人が山札から2枚引く
- しかし2枚引くのは**誕生日カード**で防ぐ事が出来る
- 最後の1枚が記号カードになると山札から1枚引く

このルールのポイントは？

食事における**バランスの大切さを意識してほしい**
→好きな色でなく**順番に色を出すようにした**
お菓子ばかり食べるのは良くない
→**カードをプラス2枚とる**

4. 改善

カンボジア研修

学校のカンボジア研修に参加し、カンボジア現地で様々な活動をした
その際作ったカードを持参し、甲斐さんへ行ってアドバイスを貰った

| 試作品 | アドバイス | 改善 |
|---------------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| 誕生日カード | カンボジアでは誕生日にケーキを食べる習慣がなく、お正月にご馳走を食べる | お正月カード |
| 三大栄養素 | カンボジアでは政府が主要栄養素を6つに分けると発表 | 六大栄養素 |
| 対象年齢 幼稚園年長から 小学校低学年 | 現地の子供たちは普段頭を使った遊びをしないのであまり得意ではない | 対象年齢 小学校高学年から 中学生 |

甲斐さんの話を聞いて...

- ・無意識のうちに**日本の視点でカードゲームを作ってしまったと反省**
- ・日本の**当たり前がカンボジアの当たり前とは限らない事を実感した**

→ 今後はより**価値観の違い**に気をつけて制作を進めていこうと思う

5. 今後

その後甲斐さんに改善案を再度提案

→ 評価してもらえた

その上で

カードゲームを簡単にする事をアドバイスされた

今後は

- ・日本版・カンボジア版の2種類を作り実際に子どもたちに遊んでもらう
- ・タンキュー株式会社様と共同でクラウドファンディングを行い製作するための資金を集める事を中心に活動していく予定

最終的な目標は

カンボジアに100セットほど届け、カンボジア政府に家庭科の副教材として認定してもらうこと

目標に向けて今後も活動を続ける



プロフィール

和歌山信愛高校Global Activity club

このクラブは、カンボジアで子どもたちに教育を届けたいと活動するシスターをお手伝いしたいという思いから生まれた。文化祭や体育祭で募金活動を行ったり、それと同時に最近では年度ごとに自分たちが取り組みたいカンボジアに関する課題を設定し、その課題に向けて活動をしている。またカンボジア研修を通してシスターが経営に携わっている幼稚園や小学校で奉仕活動を行っている。